大仙市立西仙北中学校

羽ばたこう　立志の丘から

平成２８年度　学校通信

平成２８年７月１１日
No.１４

吹奏楽部　見事　最優秀賞受賞！！
県南コンクール　（校内壮行演奏会）

８日は、校内で、吹奏楽部の県南コンクール出場に対する「壮行演奏会」が行われました。

演奏曲は、ハンガリーの作曲家、バルトーク作「組曲　ｏｐ．（オープス）１４」で、ピアノのために作られた４曲からなる組曲の中からセレクトして吹奏楽用に編曲された曲でした。純粋に音楽作品として作られた「純音楽」ということで、これまでの本校吹奏楽部の演奏曲とは、少し違った作品への挑戦だそうです。

毎日の練習を地道に積み上げてきた吹奏楽部員は、先週末から体調を崩した部員もいてたいへん心配されましたが、壮行会では見事な演奏を披露してくれました。

そして、迎えた10日、県南コンクールは湯沢文化会館で行われました。緊張した面持ちの吹奏楽部員でしたが、もてる力を十分に発揮しました。結果は、最優秀賞！！そして、２年ぶりの県大会出場です。昨年の先輩の想いも受けた一年間の練習の成果を見事に発揮してくれました。

県大会でのさらなる活躍を期待しています。県大会は７月31日、県民会館で行われます。是非、お聴きください。おめでとう！　吹奏楽部！！

「民生委員と語る会」開催

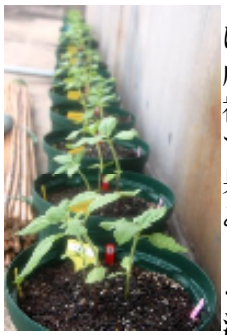
６日、「民生委員と語る会」を本校で開催しました。毎年行っている会ですが、西仙北地域の民生委員及び主任児童委員の方々33名にご来校いただき、生徒の地域での活動の様子等の情報交換をしました。

学校からは、各学年の生徒の様子とともに、昨年度の避難所開設訓練等から見えてきた課題は地域との日頃からの連携の在り方等であることを話しました。そして、この課題等を踏まえ、現在、生活文化部を中心に活動を展開している「西仙北中学校地域活性化プロジェクト」の取組や夏休みの小・中合同奉仕作業の取組などについても話しました。

会長さんをはじめ民生委員の方々からは、「地域と学校、また生徒との関わりは大事なことであり、今後も連携を図り、支援していきたい。民生委員の立場以外にも、町内会長さんや地域の活動団体の代表の方もいるので、互いに情報交換して、生徒を育てていきましょう」とお話いただきました。

向日葵が咲き始めました

生活文化部員や田澤先生たちがお世話してくれている花壇の向日葵が咲き始めました。本校のシンボルでもある向日葵ですが、今年は花壇や「世界一の向日葵」の周りにも様々な種類の向日葵を植えています。



また、生活文化部科学研究班は、齋藤憲三・山﨑貞一研究助成金を受け、「向日葵の向日性の神秘を探る」研究にも取り組んでおります。どのような研究成果が現れるのか、たいへん楽しみです。

お盆の８月15日に行われる「ふるさと西仙祭り」で、雄物川に流される灯ろうを全校生徒が制作してお祭りに協力しています。

本校階段横のテラスに描かれた「5周年記念ロゴ」は、２年生の男子２名が制作してくれました。来校の際はご覧ください。

2年美術　研究授業

７月７日の七夕の日、２年Ｂ組の美術の時間は研究授業でした。本校は、昨年度から２年間、文部科学省国立教育政策研究所による「教育課程研究指定校（美術）」の指定校として研究を進めております。当日は、秋田県教育庁南教育事務所仙北出張所　熊谷留美子指導主事及び大仙市教育委員会　小田長早苗指導主事にお出でいただき、授業及び研究推進について指導していただきました。

美術の時間は「暮らしを彩る模様～地域の自然を模様にしよう～」という題材でした。交流を続けているフィンランドの模様なども含めて世界の模様に関心をもち、地域の四季や自然物などのイメージをもとに、生活を彩る模様を創造しようという授業でした。

指導主事の先生方からのは「主体的に学ぶ生徒たちであり、授業の始まりが衝撃的でぐっと引き込まれた。ワクワク感のある授業でした。授業は子供たちのすばらしい感性を引き出す仕事である、地域の子どもとしての特性を十分に引き出してほしい。個人差があるがゆえに学び合いが生きる。自分の考えをもたせ、生徒同士で考えを交流する力をもっと付けて、創造する喜びを十分に味合わせてほしい」という指導をいただきました。

美術科に限らず、全教科で生徒のよさを引き出す授業づくりに取り組んでいきたいと思います。ご指導ありがとうございました。

リノベーション順調に進行中！

７月上旬、西仙北中学校地域活性化プロジェクトのリノベーションは、順調に進行中です。佐々木工務店様の社長、専務、棟梁、大工さんの絶大なるご支援、ご指導の下、生徒たちの考えたアイディアスケッチのとおりに壁ができつつあり、目玉となるカウンターも形を見せてきました。

さらに、秋田電気工事様からも、テレビの設置や電気の配線に、ご支援をいただいております。ハブスペース前の二つの駐車場につきましても、管理組合様や管理者様から、空いている場合の使用を快く許可していただきました。誠にありがとうございます。

生徒たちは、班編成をして実際の作業を生き生きと行っており、板材を切ったり壁に打ち付けたりする作業に感動を覚えながら進めております。

西仙北支所長や活性化推進室の新田さんも、毎日のように作業を見守ってくれています。近隣の方々も、声をかけてくださいます。７日、学校の指導にお出でいただいた指導主事の先生方も、わざわざ立ち寄ってくれました。指導主事の先生方は、和栄堂さんで生徒作品をモチーフにした和菓子と、近所で評判のコロッケもお土産に買ってくれました。生徒が活動すれば、人が集まります。あいさつがあります。交流になります。地域活性化の効果の一つかと思います。

和菓子のモチーフとなった作品制作者

美術科作品が、地元和栄堂さんで商品化された第三弾となった和菓子は「陽×SUN^2（ようサンサン)」ですが、そのモチーフを作った二人です。

現在３年生の佐々木君と小木田君の２年生の時の美術の授業で作成した和菓子のイメージが、実際の和菓子になりました。

「今回、僕の作った和菓子が選ばれ、とても驚きました。僕は、和菓子に西仙北の自然と雄物川を意識して作りました。自然は緑で葉を表現し、雄物川は寒天の部分を層にして表現しました。今回の作品は小木田君の太陽と僕の緑でひまわりのように見えて、夏らしいなぁと思いました。食べた感想は、とてもさわやかな味で、夏によく合っていると思いました。」(佐々木)

「僕は夏の太陽をイメージして和菓子を作りました。夏は暑いし、暑いといえば太陽と思ったからです。実際に和菓子として商品になると聞いた時は、驚きと嬉しさがあって、作ってよかったと思いました。佐々木君とのコラボ商品で、太陽がひまわりのようにも見えて、一層夏らしい商品になっていました。地域の多くの人に食べてもらいたいと思いました。下の層の寒天がおいしかったです。」（小木田）